

公表日

令和 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度本明川ダム構造評価検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 長崎河川国道事務所長 金井 仁志 長崎市宿町316-1
契約年月日	令和 4年 9月30日
契約業者名	(一財) ダム技術センター
契約業者の住所	東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2階
契約金額	19,338,000円(税込み)
予定価格	19,338,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	長崎県諫早市富川町外
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年10月 1日
履行期間(至)	令和 5年 3月10日
備考	入札情報サービス(PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 令和4年度本明川ダム構造評価検討業務
2. 履行場所 長崎県諫早市富川町外
3. 契約の相手方 住 所：東京都台東区池之端 2-9-7 池之端日殖ビル 2 階
会社名：一般財団法人ダム技術センター
電 話：03-5815-4161
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、台形CSGダム本体の設計・施工に関する専門的知見から、本明川ダム本体設計等に係る検討業務について、その検討内容および検討結果に対する評価を行うものである。

2) 業務の内容

本業務は、打合せ協議、計画準備、現地踏査、検討業務評価、総合検討、報告書作成を行う業務である。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低36者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を17者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

「実施方針・実施フロー等」及び評価テーマ「本明川ダムにおけるダム本体設計及びダム本体施工計画検討の評価を行う上での留意点について」に対する技術提案について、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

長崎河川国道事務所 開発調査課長